

# 行政視察報告書

令和4年11月1日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 斎藤一信 (印) 議員 大本邦光 (印)  
議員 (印) 議員 (印)  
議員 (印) 議員 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

## 記

### 【1】NPO 法人 人道の船陽明丸顕彰会

住 所	石川県能美市福岡町口10番地
電 話	0761-55-1267
視察案件	笠岡市出身茅原船長の歴史を顕彰する同会との交流及び、歴史研究。
期 日	令和4年10月24日(月) 14時から14時30分 まで
応 対 者	先方の都合により、応対者なし。
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	NPO 法人 人道の船陽明丸顕彰会
概 要	先方の都合により、残念ながら応対者なしとなったが、一応、名刺を施設に投函し、表敬訪問とした。 ぜひ、笠岡市と同施設との今後の交流の一助となればと考えている。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

(個人行政視察用)

【2】 能登町 イカの駅つくモール

住 所	石川県鳳珠郡能登町越坂（字）18
電 話	078-674-1399
視察案件	イカの駅『つくモール』の運営およびコロナ予算でのイカキング設置について
期 日	令和4年10月25日（火）11時から12時00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	能登町 イカの駅つくモール
概 要	イカの活用が以前より町の課題であった。副町長がふるさと振興課長時代に企画実施した。コロナ禍でいかに雇用と人の流れを作るかテーマに協議を重ね企画した。『インパクト大きなイカを作りたい!』とのことでイカキングの製造ということとなった。マスコミのバッシングは相当だったが、議会も概ね町の課題解決のためと理解を示した。騒いでいたのはマスコミ。デザインはプロポーザル。概念としてコロナ対策費ではなく、コロナが起こってしまった後のコロナ対策費として予算化した。今回は、インバウンド対策、ふるさと納税の対応、ぬいぐるみの作製など企画している。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【3】 かほく市子ども屋内運動施設 かほっくる

住 所	石川県かほく市谷ワ108
電 話	076-208-3517
視察案件	遊びの森かほっくるについて
期 日	令和4年10月26日（水）10時から11時まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	かほく市子ども屋内運動施設 かほっくる
概 要	平成20年に出生数が241人と厳しい状況となり、市の施策として子育て支援を柱に数々の事業を展開し、人口増、出生数増へと転じた。特に保護者へのサービスを徹底。①保育施設への欠席は当日朝できるスマホアプリ提供。②お昼寝ベッドを市が導入。③紙おむつ2,500円/月使いたい放題。など。また新築助成金200万円など若い夫婦が住みよいまちづくりに予算をしっかりと使った。そんな中での、同施設建設。メンテナンスが必要な古い体育館をリノベーションし、屋内冷暖完備の遊具施設を完成。非常に多くの若い方たちに利用され、子育て支援に貢献している。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺